

当院において「熱中症」症状で受診された方およびそのご家族の方へ

— 冷房設備がないことによる熱中症入院の実態調査への協力依頼 —

研究機関名およびその長の氏名：岡山協立病院 病院長 高橋淳

研究責任者：岡山協立病院 総合診療科 長尾 拓海

1) 研究の背景および目的

2024年夏は観測史上最も高い平均気温となり、当院でも熱中症により救急搬送された患者様が多く入院されました。熱中症の治療後に退院調整を行った際、天気予報ではまだ猛暑日が続くとされるにも関わらず、“冷房設備のない自宅に退院せざるをえない社会的弱者を、どのように熱中症再発から守れるか”が議論となりました。特に、独居の生活保護世帯で設置されている冷房設備が故障しているため使用できず、自費となる修理費用や価格上昇した電気代を捻出できない事例については解決に困難を極めました。

そこで、今夏の熱中症について、来院患者数・入院患者数・生活保護世帯数・冷房設備の有無・入院費用について診療録から実態を調査し、その結果をもとに、社会的弱者への支援の在り方を提言することを目的としました。また、熱中症入院にかかる医療経済的負担についても併せて考察することとしました。

2) 研究対象者

2024年5月1日～2024年10月31日の間に当院の内科・総合診療科・救急科に熱中症・脱水で受診（外来または入院）した18才以上の成人患者。

3) 研究方法

患者抽出は、研究対象者のカルテ記述内容に「熱中症」、「脱水」の語句が記載された患者様を対象とし、入院中におきた熱中症、脱水については除外基準としました。氏名や生年月日など、皆様を直ちに特定できる情報は削除して使用しました。また個人情報が漏洩しないようにプライバシーの保護に細心の注意を払っています。

4) 使用した情報

- 年齢、性別、保険種別、入院日、入院日数、入院費用、エアコン設置の有無

5) 使用した資料の保存

この研究に使用した情報は電子情報のみであり、個人情報を含まないデータとして保存されます。研究終了後5年間、パスワードで制御されたコンピューター内に保管されます。データ抽出に使用した患者IDはインターネットに接続されていない別のコンピューター内に電子情報として保存されます。

6) 研究資金と利益相反

この研究に使用された研究資金は一切ありません。また利害関係が想定される企業等で研究責任者や家族が活動して収入を得ているようなことは一切ありません。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、御家族等（父母などの親権者、配偶者、成人の子または兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容の不明点についても、担当責任者に遠慮なくお尋ねください。

この研究は、あなたの個人情報を特定するデータがわからない形で、学会や論文として発表されます。

この研究にご質問があれば下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（御家族の方等も拒否を申し出ることができる場合があります）に御了承いただけない場合には研究対象とはいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが発表された場合は、個人が特定できない形式の場合は情報を削除修正できない場合がありますので、御了承ください。こういった場合に診療など病院サービスにおいて患者様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山協立病院 総合診療科

氏名：長尾 拓海

電話：086-271-2121（代表 平日9時～17時）